

【特別支援学校用】

令和4年度学校評価 計画

様式1(特別支援学校)

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立伊万里特別支援学校
-----	---------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容13項目のうち、最終結果でのBは2項目だった。その中の「学校間交流及び共同学習の実施」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむを得なかったといえる。次年度も感染の様子を見ながら取り組んでいきたい。「業務改善・教職員の働き方改革の推進」については、大きな行事の事前準備の影響で、月毎に時間外勤務が増加している。しかし、行事の見直しも含め、職員の意識は高まってきている。次年度も継続して取り組みたい。 心の教育の項目で、「いじめを見逃さない体制づくり」の推進に力を入れた結果、昨年度より職員の意識が改善した。今後も、いじめ等に対する意識を高く保ち、「いじめ(では)はない」ではなく、「小さなものでも見逃さない」という意識を持ち、生徒の指導支援にあたっていくよう、全職員で取り組む。 感染症予防対策の実施は、職員、保護者、関係機関の方々の理解を受け、おおむね実施できている。執務室へのパーテーション配備等、物的支援も整ってきつつある。今後も引き続き、対策の強化を図っていく。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	将来の社会生活を見据え、自立を目指して児童生徒個々の特性に応じた教育を行う。
----------	----------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 児童生徒の特性と教育的ニーズの把握に努め、個に応じた教育計画・実践の充実を図る。 健康・安全教育の充実を図り、安全・安心な教育環境を整備する。 進路指導の充実を努め、キャリア教育の実践を積み重ねて卒後の自立的な社会生活を目指す。 児童生徒の主体性を尊重し、「明るく」「素直に」「元氣よく」「たくましく」生きる力を育む。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○自分の子どもが成長したと感じる保護者70%以上を目指す。 ○本校のキャリア教育全体計画に沿った教育の提供ができたと回答する教職員70%以上を目指す。 ○「特別支援教育の専門性が向上した」と回答する教職員80%以上を目指す。 ○「個別の指導計画」における自立活動の指導及び評価が適切に行われた」と回答する教員80%以上を目指す。	・一人一人の特性を丁寧に見取り、適切な指導・支援を行う。 ・日々の学習活動に本校におけるキャリア教育の視点を取り入れ実践していく。 ・児童生徒一人一人のニーズに応じるための専門性の向上に資する教職員研修を実施する。その、内容等の精選と充実を検討し、計画的に実施する。 ・自立活動の指導内容及び方法、評価方法等を見直し、適切に実施することにより、効果的な学力向上につなげる。 ・自立活動研修会の実施や自立活動に関する情報発信に努める。							自立活動部 研究研修部 各学部主事
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○安全、安心な学校生活が提供できていると回答する教職員70%以上を目指す。 ○児童生徒が安心して学校生活を送ることができていると回答する保護者70%を目指す ○保護者とともに連携して、いじめやトラブルを見逃さない体制づくりを推進していると回答する教職員80%以上を目指す。	・児童生徒からの発信を見逃さないように丁寧に心身両面の把握をする。 ・児童生徒と職員の信頼関係を構築し、誰にでも、なんでも相談できる雰囲気を作る。 ・月一回の学部会などで気になる生徒の情報交換を行う。							生徒指導部 各学部主事
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの基本方針の確認や研修会を実施していじめの定義等を再確認し、早期発見、早期対応ができるように努める。 ○年2回のアンケート調査を行い問題の早期発見を目指す。	・いじめのサインを見逃さないようにする。 ・学級活動や生徒会活動でいじめ防止のポスターや標語の作成及び掲示を実施し、学校全体でいじめ防止への雰囲気づくりに取り組む。							生徒指導部
	◎児童生徒一人一人が夢や希望を持ち、自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動の推進	○児童生徒一人一人が、「やってみよう」と意欲を持ち、「できた」、「わかった」と、実感できる授業づくりができた」と回答する教職員70%を目指す。 ○授業改善のために各学部で研究授業や事例研究会等を年3回以上実施する。	・各学部におけるめざす子ども像、キャリア教育全体計画を踏まえ、一人一人に応じた目標を設定して授業実践を行う。 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画、通知表が適切に関連するように作成記入を行う。							教務部 各学部主事
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○規則正しい学校生活が提供できたと回答する教職員80%を目指す	・見通しの立ちやすい週日課表を作成し、毎日同じ流れになる生活を提供する。							保健安全部
	④「安全に関する資質・能力の育成」	○各種訓練を充実させ危機意識の定着を図る。 ○交通安全に関する指導を適宜行う。	・より実際の緊急事態に近い形を想定しながら、各種訓練を実施し、事前指導、事後指導にも力を入れる。 ・通学時の安全指導を行う。							生徒指導部
	○新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止における基本的な対策の徹底	○感染予防、感染拡大対策を徹底できたと回答する教職員及び保護者70%以上を目指す。	○機会あるごとに注意を促し、早期に対応し学校内での感染の広がりを防止する。 ○児童生徒の健康状態や、家庭の状況等の把握を保護者と連携して丁寧にを行う。教職員の健康状態も適切に把握する。							学部主事 保健安全部
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○センター的機能について職員の意識を高め、役割を果たしている」と回答する職員が60%以上を目指す。 ○地域のコーディネーター対象の研修会を年1回開催する。	○機会あるごとに、職員にセンター的機能の役割を紹介する。 ○地域のコーディネーターに向けたアンケートの結果を参考に、研修内容を計画する。							相談支援部

●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間外在校等時間の平均を前年度より2時間減を目指す。	・管理職による継続した呼びかけとノー時間外勤務デー等の設定 ・教材の再利用や共有化を図り、教材研究を効率よく行う。 ・各種校内書類の合理化と簡素化を図り事務作業を軽減する。 ・会議の精選と時間短縮を図り、教材研究の時間を確保する。						様式1(特別支援学校)	管理職
--------------------	----------------------	---------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	-------------	-----

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○進路指導とキャリア教育の充実	○児童生徒及び保護者、ならびに学校職員が将来の自立と社会参加を意識して取り組もうとするための進路指導とキャリア教育の提供	○児童・生徒の将来の自立と社会参加を見据えた指導・支援ができていると回答する職員が80%以上を目指す。 ○自立と社会参加に向けた進路指導、キャリア教育が提供されていると回答する保護者が70%以上を目指す。		・学校とPTAの連携による、ニーズに応じた進路研修を企画・運営する。 ・「福祉サービス事業所情報」冊子や「進路だより」の発行とホームページを活用して取り組みの周知、理解を広げる。 ・本人、保護者、担任の足並みが揃うよう見学、懇談の機会を充実させる。					進路指導部	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---------------------------------------------------------------------------